



たちばな

8月号

〒793-0065 西条市榎木 54-1
Tel (0897) 57-9543 FAX (0897) 57-6221
eメール tachibana-k@saijo-city.jp

令和3年8月1日
橋公民館発行
通巻488号

橋校区の人口(6/30 現在)
総人口 1,799人 (-12)
(男 874人) (-5)
(女 925人) (-7)
世帯数 818 (-4)

ギャラリー橋

サークル『ワレモコウ』の手芸作品を展示しています。ぜひご覧ください。



友愛訪問

7月6日(火)

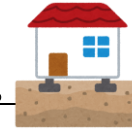


橋小学校3・4年生がさわやかクラブの皆さんと友愛訪問を行い、メッセージ入りのしおりをプレゼントしました。子ども達の訪問を大変喜んでくださり「会いに来てくれてありがとう。」と笑顔あふれ心温まる時間となりました。



木造住宅の耐震診断・耐震改修で大規模地震に備えませんか

ご存知ですか、
いまなら改修工事に7万円が追加補助されています。



地震に対し、ご自宅がどの程度の耐震性を有しているか、知っていますか？
本市では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図るため、建物の耐震調査を3,000円の費用で診断できる事業と、建物の耐震改修工事費用に最大107万円の補助金を支援する事業を実施しています。

※耐震診断の負担額は3,000円ですが、診断結果を急ぐ場合は、9,900円の負担となります。

また、耐震改修工事補助金の内、7万円は令和4年度までとなります。

対象となる住宅

○昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅

【申込期間】 令和3年8月10日(火)～令和4年1月7日(金)

【問合せ先】 市庁舎新館3階 建築審査課 建築審査係 TEL 0897-52-1558

巨大地震による倒壊から命を守るため、耐震補助制度の活用を



耐震改修前は、地震に対し、建物が大きく揺れ、倒壊の恐れも高い。



耐震改修すれば、建物が倒壊しにくく丈夫になります。

8月の行事予定

日	曜	公民館関係・地区行事
1	日	防災士定例会 (19:30～)
2	月	休館日
4	水	民生児童委員定例会 (19:30～)
6	金	さわやかクラブ世話人会 (13:30～) 防犯協会定例会 (19:30～)
8	日	休館日 (山の日)
9	月	休館日
15	日	休館日 臨時休館
16	月	休館日
17	火	食生活改善推進協議会
19	木	いきいき橋 映画「新男はつらいよ」 公民館で遊ぼう 映画観賞 (13:30～) 交通安全協会定例会 (19:30～)
23	月	休館日
25	水	婦人会定例会
29	日	休館日 臨時休館
30	月	休館日

8月 カワセミ号 (移動図書館)

橋公民館 4日・18日(水)

9:30～9:50 (10分短縮となっております。)

8月 ローソン移動販売

4日(水)
11日(水)
18日(水)
25日(水)

- 15:00～15:15 野々市集会所
- 15:20～15:35 榎木西
- 15:40～15:55 榎木集会所 (阿弥陀堂)
- 16:00～16:15 西泉中
- 16:20～16:35 西泉東 (民部さん)
- 16:40～16:55 西田 (旧集会所)
- 17:00～17:10 相生



西泉中

【俳句】



日章旗真上に赤き夏至の月
睡蓮すいれんや藩主の狩りのお立ち台
水受けて茄子なすこん紺さらに濃く深く
夏蝶やくんずほぐれつ登りつめ
菅笠すががさに同行どうぎょうにん二人夏遍路
詠み人知らず

いしづちじんじゃ 石鎚神社(1) (西田)

西日本第一の高峰石鎚山(1982m)は、古くから石鎚の神=石鎚毘古命を石土蔵王権現と称して崇め、あわせて山野に入り苦行を重ねて靈験を得る修験道の道場の山とされてきました。開祖は役小角(役行者)で天武14年(685)52歳の頃とされています。奈良薬師寺の僧景戒の著『日本靈異記』(822)によれば「伊豫国神野郡の郷内に山有り。名を石鎚と云ふ。是は即ち彼の山に石鎚の神ありての名なり。云々…」とあります。平安時代の初め、寂仙あるいは上仙、光定などの高僧が出て、山路を開き登山者を導き常住社(今の中宮成就社)を創設しました。また、役小角によって開創された四国八十八ヶ所第60番札所横峰寺と第64番札所前神寺は、石鎚山の別当寺となつて、明治維新まで神と仏の信仰を長く融合調和してきました。

慶応4年(1868)の神仏分離令によって、神仏習合が禁止されると共に別当寺が廃止され、石鎚信仰は神道色を強めて仏教その他の宗教をその傘下に治めようとしていました。しかし実際には、奈良・平安

時代から続いてきた神仏習合の考えや仏が上で神が仮の姿をして現れる(権現)という本地垂迹説、山野に入り苦行を重ねる修験道の行や神仏を同じ所に祀って区別しないことなど、すべてが突然に崩れ去り消え去ってしまったりすることはあり得ません。

前神寺の御詠歌には「前は神 後ろは仏極楽のよろずの罪を くだく石鉄」とあります。仏教系前神寺と神道系石鎚神社とは、手を結んで共に石鎚山の御神霊をいただき、信仰の輪を広げてきました。



石鎚神社本社社前の神事 (佐伯尚三氏提供)

石鎚山は、弘法大師も修行したと伝えられ、桓武天皇、嵯峨天皇、文武天皇や源頼朝、河野家一族、豊臣家一族の篤い信仰があり、慶長15年(1610)には豊臣秀頼によって中宮成就社が造営されたといわれています。また、寛文年間(1661~1673)より西條藩主、小松藩主の信仰が特に篤く、社殿の修理や神宝の奉納が数多くあります。ちなみに、手水舎や屋根瓦には葵の紋が使用され、大きな銅製の手水鉢には「西條藩中天保3年(1832)」の銘があります。石鎚山には3ヶ所の鎖の行場があり、下から一の鎖(33m)、二の鎖(65m)、三の鎖(68m)と称し、三の鎖を登りきった所に頂上社があります。元禄12年(1699)の石鎚山の絵図に鎖が記されていることから、江戸時代初期には掛けられていたと推定されます。安永8年(1779)に掛け替えられた記録があり、さらに昭和3年(1928)に一の鎖、昭和36年(1961)に二の鎖、平成2~3年(1990~1991)に三の鎖が掛け替えられました。旧鎖の一部は本社本殿前の手摺りとして設置され、石鎚山登山の歴史を偲ぶことができます。

いしづちじんじゃ 石鎚神社(2) (西田)

石鎚神社は、奥の宮頂上社(石鎚山頂1982mの地)、中宮成就社(石鎚山中腹1450mの地、石鎚登山ロープウェイ経由)、土小屋遥拝殿(石鎚山中腹1500mの地、石鎚スカイライン終点)、口の宮本社(西条市西田甲797の地)の4社を総称しています。

明治の初めに愛媛県内の神社の格式が次のように定められました。

- 国幣中社 大山祇神社 (現今治市大三島町) 大正4年国幣大社に昇格
- 第一県社 伊曾乃神社 (西条市中野) 昭和15年国幣中社に列格
- 第二県社~第六県社は、阿沼美神社(松山市)、伊豫神社(伊予郡)、村山神社(現四国中央市)、宇和津彦神社(宇和島市)、石鎚神社(西条市西田)となっていました。

明治41年(1908)に元前神寺の所在地を石鎚神社口の宮と改め、大正6年(1917)には分霊を祀る石鎚神社がハワイに創建され、またブラジルにもスザノ石鎚神社が建てられて現在海外でも信仰深く祀られています。



三体の御神輿の競演 (佐伯尚三氏提供)

第二次大戦後社格の制度は廃止となりましたが、昭和21年(1946)に石鎚信仰の神仏習合という特殊性を生かすため、石鎚神社の傘下宗派として石鎚本教を創立しました。霊峰石鎚山に登拝することにより、数々の体験を重ね神の導きを得られるとするところから、石鎚山そのものが教祖・教典であり、登拝の行程から得られる「修祓・修業・鎮魂」が石鎚本教の教えです。年中の神事は春、秋の例大祭など大変賑やかですが、とりわけ「お山開き」・「お山市」と呼ばれる夏季大祭は歴史も古く最も重要な神事であると言えます。

現在、この祭礼は7月1日から10日に斉行されており、その間の登拝者は全国各地より数万人を数えます。「仁」・「智」・「勇」の3体のご神体は三基の神輿に乗って成就社まで動座し、頂上社までは信徒の背によって運ばれ10日間の大祭が始まります。

石鎚山は往古より女人禁制の山とされてきましたが、時の流れと共に次第に開放され、現在は7月1日のみとなりました。やがてこの制度も無くなることでしょうか。石鎚神社社務所南の文学の森には、【花咲きて七日鶴見る麓哉】はせを(芭蕉)。「天保六乙未年東武南呂坊桃栗建立」と記された芭蕉の句碑があります。松尾芭蕉は江戸前期の俳人であり、他に石岡神社、吉祥寺、武丈公園にもありますが、西条を訪れたかどうかは不明であります。

【御百度や花より出て花に入】一茶。という句碑があります。小林一茶は江戸後期の俳人であり、伊予路には33歳の頃寛政7年(1795)に訪れました。この句は桜が満開の旧暦2月20日に前神寺(現石鎚神社)を参拝した時のもので、句碑は昭和56年(1981)に建立されました。